

## 平成 30 年度 事業報告及び決算

## 本部事業

## I 社会啓発・研修事業

「すべての県民(国民)が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する。」(障害者基本法)ための社会啓発・研修事業

## 1 社会啓発事業

## (1) 権利擁護事業

虐待防止法等を含め障害者の権利擁護を啓発してきた。

## (2) 会報・リーフレット等による情報発信

全育連発行の機関紙「手をつなぐ」の購入促進に努めた。

「会報」第 101 号(平成 30 年 8 月 24 日 7, 500 部)、

第 102 号(平成 30 年 9 月 1 日 7, 500 部)、

第 103 号(平成 31 年 3 月 15 日 7, 700 部)を発行して情報提供を行った。

## (3) ホームページの公開

研修会やスポーツ行事等の情報提供の更新に積極的に努め、情報提供を行った。

## (4) あいサポート運動等を活用した、あび隊による啓発活動

あび隊の活動を通して、学校子どもたちや保護者・教職員の方々へ「知的障害・発達障害」の理解を深めてもらうことに努めた。

## 2 研修・調査事業

(1) 研修(各種大会) 下記の大会に県内各地から参加し、研修した。

① 中国・四国大会(鳥取大会) 平成 30 年 11 月 10 日(土)・11 日(日) 多数参加

「一般大会」第 1 分科会【幼児、学齢期】提案者; 柏田潤子さん

「すまいる大会」第 1 分科会「仕事について」発表者; 安達光さん

② 全国大会(京都大会) 平成 31 年 2 月 23 日(土)・24 日(日) 多数参加

③ 県福祉大会(福山・神辺大会) 下記のように開催し県内各地から参加し、研修した。

・事業名 第 44 回広島県知的障害者福祉大会・第 17 回はつらつ大会(本人大会)

・日時 平成 30 年 10 月 28 日(日)

・場所 (一般大会) 福山市神辺文化会館

(本人大会) 福山市神辺文化会館・福山市かんなべ市民交流センターほか

・参加者 参加総数約 600 人(内本人 300 名) ※ボランティアも含む

・内容 《一般大会》主題: 「誰もが地域の中でかがやくために」

午前; 開会行事・表彰ならびに来賓挨拶(合同)

講演会 講師 福岡 寿氏(日本相談支援専門員協会 顧問)

演題 「暮らしにくさを抱える人を地域で支援する」

午後; シンポジウム

テーマ 「暮らしやすい地域をつくるために」

大会決議・閉会行事（合同）

《本人部会》主題；「夕日かがやく神辺で、笑顔いっぱい広げ、一步踏みだそう！！」

午前；開会行事・表彰ならびに来賓挨拶

- ・行政との話し合い
- ・みんな笑顔になる勉強会
- ・紙ヒコーキを作って飛ばそう

午後；みんなで楽しもう（ダンス）

大会決議・閉会行事（合同）

## (2) 子育て家庭から高齢期家庭への支援委員会

平成 29 年度に、知的障害のある子どもをもつ親（家族）が「乳幼児期」「学齢期」「高等部卒業後」「中・高齢期」のそれぞれのステージにおいて利活用でき、親の孤立感や不安感を解消して家族支援体制の確立と拡充、ハイリスク家庭への支援につなげることを目的とした、相談対応マニュアル「知的・発達障害がある子を育てる Q&A」を作成した。一部内容を更新した上で、社会福祉法人 広島県共同募金会からの助成を受けて増刷した。

今後とも、地域での研修会や総会等を通じて、育成会会員の他、広島県内の福祉の窓口、子ども家庭の窓口、教育委員会、特別支援教育研究連盟等に周知し、活用を図りたい。

## (3) 地域育成会の活性化事業

全育連の地域育成会活性化助成金や国庫補助事業助成金等を積極的に活用し、子ども期から老齢期までの障害者福祉全般にわたる研修、講演会やセミナーを実施することにより、地域育成会の活性化及び地域における新たな会員確保と次世代の活動を促進するように努めた。

### ① 全育連の地域育成会活性化助成金関係

- ・事業内容；元気になる研修会 「相談支援と地域生活支援拠点事業の充実」
- ・申請団体；呉市手をつなぐ育成会
- ・実施日； 平成 31 年 3 月 5 日（火） 13：00～15：00
- ・会 場； 呉市広市民センター
- ・講 師； 福岡 寿氏（日本相談支援専門員協会 顧問）
- ・参加者数；80名

### ② 国庫補助事業助成金関係

- ・事業内容；地域巡回・本人による本人のための相談会 事業
- ・申請団体；広島県手をつなぐ育成会（主管 福山手をつなぐ育成会）
- ・実施日； 平成 31 年 1 月 27 日（日）終日
- ・会 場； Rim Fukuyama 福山市ものづくり交流会
- ・内 容； ○学習会「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送るには」  
講師 松井 小百合氏（広島市手をつなぐ育成会相談支援専門員）  
○なんでも相談会  
本人相談員 岡本仁さん（福山仲良し会）、西久保昌枝さん（神辺さくらの会）、田中孝治さん（広島フレンドの会）、熊澤有馬さん（庄原コスモスの会）  
助 言 者 松井氏（相談支援専門員）、安森氏（広島フレンドの会 支援者）

- ・参加者数；100名

(4) 知的障害の特性とスポーツ支援にかかる調査・協力事業

広島県及び広島県障害者スポーツ協会と連携し、各種競技会の実行委員会の委員として大会を運営するほか、各種競技会の後援者として大会運営を補助するなど、知的障害児者が気軽に地域の中でスポーツに親しみ、健康の維持と促進を図ることができるよう努めた。

(5) 全国手をつなぐ育成会連合会・広島県・その他の関係機関との連携（委員の派遣その他）

① 全国手をつなぐ育成会連合会関係

- ・会長会議（副島会長）
- ・全国手をつなぐ育成会連合会役員（金子副会長）
- ・「手をつなぐ」編集委員（善川理事）
- ・中国・四国ブロック長会議（ブロック長；金子副会長）

② 広島県・その他の関係機関関係（県育成会三役・事務局が出席する主な委員会）

	委員会名	主催者
1	広島県障害者施策推進委員会	広島県障害者支援課
2	広島県障害者自立支援協議会	広島県障害者支援課
3	すべての障害児者と市民を結ぶ県民会議	広島県社会福祉士会
4	運営適正委員会	広島県福祉サービス運営適正化委員会
5	広島県社会参加推進センター全体会議	広島県社会参加推進センター
6	広島県社会福祉審議会委員会	広島県
7	広島県福祉のまちづくり推進協会	広島県障害者支援課
8	広島県子ども・子育て審議会委員	広島県子ども家庭科
9	広島県障害者差別解消地域支援協議会	広島県障害者支援課
10	広島県障害者虐待防止ネットワーク推進会議委員	広島県障害者支援課
11	広島県障害者陸上競技大会実行委員 (全県選考委員)	広島県障害者スポーツ協会
12	広島県障害者スポーツ交流・運営委員	広島県立障害者リハビリテーションセンター
13	広島県障害者スポーツ協会理事会・評議委員会・ 総務企画委員会	広島県障害者スポーツ協会
14	広島県障害者スポーツ協会法人化専門委員会	広島県障害者スポーツ協会
15	あいサポートふれあいコンサート実行委員会	広島県障害者支援課
16	広島県バリアフリー等地域連絡会議	国土交通省中国陸運局交通施策部

③ 一般社団法人生命保険協会広島県協会との連携事業

- 一般社団法人生命保険協会広島県協会からの助成を受けて、アンジュヴィオレ広島とサンフレッチェ広島の観戦に障害児者と家族・支援者を招待した。

- ・アンジュヴィオレ広島 {エディオンスタジアム；9月2日（日）約60名参加}
- ・サンフレッチェ広島 {エディオンスタジアム；11月24日（日）約90名参加}

## II 社会参加事業

知的障害のある人の社会参加を支援する事業

### 1 社会参加推進事業

○知的障害のある人が自立した生活を送る力を培うため、仲間とともに様々な研修や体験をする場を提供し、その支援を行った。

#### (1) 本人活動支援

本人同士の諸活動(本人交流会、本人相談会、代表者会)の支援を行った。

- ① はつらつ友の会役員・代表者会を7回開き、県福祉大会本人大会(福山・神辺)に向けて企画・運営を行った
- ② 中国・四国大会(本人大会){鳥取大会}の開催を支援した。  
「すまいる大会」第1分科会「仕事について」発表者；安達光さん(再掲)
- ③ 地域巡回・本人による本人のための相談会(再掲)を開催した。

#### (2) スポーツ大会の開催、協力

- ① 県障害者陸上大会{東広島運動公園；5月13日（日）午後より雨天中止}をはじめ、県各種スポーツ大会予選会を開催し、全国障害者スポーツ大会(福井県；10月13日～15日)に選手派遣を行った。  
延べ72名の選手が参加した。個人競技では、陸上・水泳・卓球・フライングディスク・ボウリングの各競技で41個のメダル(金11個、銀11個、銅16個)を獲得した。ソフトボールチーム(知的障害)初出場初優勝
- ② 第24回広島県知的障害者スポーツ大会(ボウリング)「2018ボウリンピック in ふくやま」を12月9日(土)福山パークレーンで行った。26団体209名参加。

#### (3) あいサポートふれあいコンサートの開催、協力

「あいサポーター」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)をつくる『あいサポート運動』に賛同し、9月9日(日)福山市神辺文化会館にて「あいサポートふれあいコンサート」を開催した。

### 2 地域生活支援事業

○自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、知的障害のある人や保護者に相談支援等を行うとともに障害の有無に関係なく安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指している。

#### 活動部会による事業

##### (1) サポートファイルの内容見直し、普及、定着、利活用促進

子育て支援や障害者理解の推進を図るため、平成22年度に育児・育成の管理記録帳(サポートファイル)を作成し、その後、書き方講習会を開催するなど、普及・定着・利活用を促進してきた。平成30年度より内容の見直しに着手している。

##### (2) 育成会への加入促進

サポートファイルの普及啓発活動や「知的・発達障害のある子どもを育てる Q&A」の冊子配布等を通して、主に若年層の会員の加入促進に努めた。(再掲)

## 広島県知的障害者相談員研修会受託事業（広島県知的障害者相談員研修会）

広島県知的障害者相談員および各市町障害福祉担当者に向けて、「差別解消法への取組」や「知的・発達障害者が地域で生き生きと暮らせる支援」についての研修会を県内2会場で実施した。

- ① 三次会場 平成30年12月10日（月）14名（うち行政関係者 6名）
- ② 広島会場 平成30年12月21日（金）26名（うち行政関係者 5名）
  - ・行政説明「障害者差別解消法について」  
名和田 聡 氏（広島県健康福祉局障害者支援課 主任）
  - ・講演 「課題解決とその事例について 相談員として大切なこと」  
田中 聡子 氏（県立広島大学 保健福祉学部人間福祉学科 教授）
  - ・ワークショップ 「地域コミュニティを活かした支援や相談援助の演習Ⅱ」  
指 導；田中 聡子 氏  
○地域コミュニティを活かした支援や相談援助の演習

## 施設保護者会及び地域育成会の懇談会（5月総会後）

平成30年度については、懇談会に代わり、総会後に研修会を実施した。

内 容；(1)テーマ「第5期広島県障害福祉計画 第1期広島県障害児福祉計画」  
〔平成30(2018)年度～平成32(2020)年度〕

- (2)講 話
  - ・第5期広島県障害福祉計画・第1期広島県障害児福祉計画について  
広島県健康福祉局障害者支援課長 岩崎 和浩 氏
  - ・平成30年度広島県障害者支援課主要事業の概要について  
広島県健康福祉局障害者支援課長 岩崎 和浩 氏
  - ・地域生活支援拠点等の整備について  
広島県健康福祉局障害者支援課主幹 橋中 育雄 氏

## きらっと光る人生を考える研究大会

「第7回きらっと光る人生を考える研究大会」（共催；広島県知的障害者福祉協会）

テーマ；「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

日 時；平成30年12月15日（土）

場 所；広島市総合福祉センター（BIG FRONT ひろしま 5階 ホール）

内 容；(1)行政説明 「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状と今後の展望

源河 真規子 氏（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長）

- (2) 実践報告「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状の取り組みと展望

小池 斉 氏（千葉県我孫子市 健康福祉部 障害福祉支援課 課長補佐）

- (3) 実践報告「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の現状の取り組みと展望

寺岡 慶治郎 氏（広島県廿日市市 福祉保健部次長（兼）福祉総務課長）

- (4) 実践報告「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場と支援」の中で相談支援事業の役割と展望

永田 拓 氏（岡山県倉敷地域基幹相談支援センター 施設長）

- (6) シンポジウム 「安心できる親亡き後の生活場とその支援を考える」

コーディネーター 副島 宏克 氏（広島県手をつなぐ育成会 会長）

シンポジスト 衛藤 晟一 氏 (参議院議員 自民党)  
山本 博司 氏 (参議院議員 公明党)  
源河 真規子 氏 小池 斉 氏 寺岡 慶治郎 氏  
永田 拓 氏

(7)参加人数；227名 (含 講師・実行委員)

- ・「はつらつ友の会」会長の田中孝治さん、「神辺さくらの会」会長の西久保昌枝さん、「呉うたう会」会長の城本房江さんが参加し、開会行事にて田中孝治さんと西久保昌枝さんが第17回はつらつ大会(本人大会)の決議文の主旨を読み上げた。また、「はつらつ友の会」からシンポジストへ質問を呈した。

### 3 『障害者扶養共済制度』の加入促進

- 『心身障害者扶養共済』は、障害基礎年金が制度化される以前に、手をつなぐ育成会が、親亡き後に少しでも安心した生活を送ることができるよう、国に働きかけ運動して制度化された共済制度である。
- ・ホームページへの掲載、研修会でのパンフレットやチラシ配布等、扶養共済制度についての周知、啓発を図るとともに、加入の促進に努めた。

## Ⅲ 互助制度事業(旧付添看護料共済活動事業)

### 平成30年度の取組み(概略)

#### ①加入の促進および定着を図った。

- ・損害保険会社(AIG)引受保険会社のジェイアイシーウエスト広島の協力を得て、未加入の多い地域や、施設保護者会への広報活動(ネットワークを通じた訪問等)を実施した。
- ・加入者及び加入支部に対する懇切・丁寧・迅速な対応を徹底する(円滑な事務執行体制の構築)。
- ・広報(共済だより)は発行には至らなかった。

#### ②付添看護料共済活動運営委員会の開催(年1回開催予定)

- ・平成31年1月11日(金)に運営委員会を開催した。開催場所；育成会総合福祉センター
- ・損害保険会社(AIG)からジェイアイシーウエスト広島を通して、保険法に係る様々な制約の中でのこの事業を継続実施するための見直し案が提示され、それについて協議した。

#### 【協議内容】

- ・名称を「付添看護料共済」から「互助制度」と変更する。
- ・保険の対象・年間保険料・補償内容は現行のままとする。
- ・年間保険料は、収納代行業者を通して会員の預金口座からの自動払込とすることとする。
- ・上記の変更の行い、その内容について、県育成会事務局とジェイアイシーウエスト広島が各地域育成会と施設保護者会を通して各会員に、または直接会員に説明し、加入依頼書の提出を求める。

#### ③全国知的障害者互助会連絡協議会と連携し、加盟互助会との情報交換を図った。

- ・平成30年11月21日(水)に神戸市において開催された連絡協議会に出席し、情報交換に努めた。

## IV 障害福祉事業所協議会

### 【活動の基本方針】

障害のある人もない人たちも安心して暮らせる地域（共生社会）づくりの一翼を担える魅力ある事業所をめざす運動を継続して進める。

平成30年度においても、利用者の『高齢化』と『重度化』への対応・支援を最重点に、活動や取り組みを進める。

### 平成30年度の取組み

- ・事業所協議会運営委員会（全国手をつなぐ育成会事業所協議会のセミナーと併催）を開催した。

平成30年10月4日（木） 開催場所；育成会総合福祉センター

【内容】広島県地区豪雨災害の被害状況について

広島県事業所協議会からの豪雨災害についての状況報告と意見交換

全国手をつなぐ育成会連合会からの国への要望について

- ・全国事業所協議会・全国研修大会（沖縄大会）平成31年1月26日（土）不参加